

## Web クリエーター科

### 卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

#### ■ 育成人材像

- ① 顧客が求める Web サイトを要望・目的・問題解決・マーケティングを考慮しながら企画をまとめ、ユーザの利便性を考慮したデザインを決定し作成(実装)できる
- ② Web サイトの作成だけでなく、インターネットに公開後の内容更新・トラブル対応など運用と管理を行い、閲覧数の増加や目標達成のために改善するなど、一連の実務の流れに携わることができる。
- ③ Web サイト作成に不可欠なアプリケーションの操作技術を身に付けて、素材作成のため画像の加工、イラスト作成、カンパ(完成見本)作成などを行うことができる。

#### ■ 身に付ける能力

- ① Web ページを HTML5 と CSS3 のコーディング(記述)により作成できる。
- ② Web ページに使用される素材作成のために Photoshop や Illustrator、カンパ(完成見本)作成のために AdobeXD などアプリケーション操作を身に付け、必要なものを自分で作成・準備できる。
- ③ Web に関わるデザインについて、レイアウト・配色だけではなく利用するユーザの利便性を考えたデザインと、効率よく求める情報にたどり着くかなど情報のデザインについて理解している。
- ④ Web ページを訪れるユーザの行動を考え、Web ページの目的を達成する体験・行動のデザインを理解している。
- ⑤ 顧客の要望からの企画、デザイン決定と制作、公開後の運用と管理、目標達成のための改善など、全体を管理する Web ディレクションとマーケティングについて理解している。

### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

#### ■ 教育課程編成の方針

- ① 豊かな教養と社会常識を身に付けるために、「就職対策」を各年次に配置する。
- ② 1年次は、Web 業界における基礎的知識、素材作成のため画像の加工、イラスト作成、カンパ(完成見本)作成するアプリケーションの基本的操作能力、コーディングの基礎的技術、デザイン・色彩の基礎知識を身に付けるための専門科目を配置する。
- ③ 2年次は、Web 業界で即戦力として活躍できる実践力を習得するため、コーディングの応用技術、Web プログラミングの基礎技術、Web サイトの企画・作成・改善・管理する知識、実在する企業の Web サイトを作成する一連の業務を遂行する能力を身に付けるための専門科目を配置する。
- ④ 1年時後期に企業と連携した実習科目を配置する。

#### ■ 授業実施の方針

- ① キャリア教育科目である「就職対策」はオンラインコンテンツを利用した一般常識の学修、履歴書・エントリーシートの記述指導、面接訓練等の実践トレーニングとする。
- ② Web 業界における知識修得を目的とした科目は講義形式で行うことを基本とし、知識の定着のための演習はグループワーク形式で行う。
- ③ コンピュータソフトウェアの操作技能を身に付けるための専門科目は、実習形式で行う。年間 20 程度の作品を作成し、Web 業界で即戦力として活躍できる実践力を身に付ける。

- ④ 実践力を身に付けるために実施する企業と連携した授業は、テーマをより表現するデザインの作成、グループワークによる問題解決のためにユーザの行動をもとにしたサービスの考案とプロトタイプを作成する。その後、プレゼンテーションを行い講評・評価する。

■ 学修成果評価の方針

- ① 講義科目は、定期試験、小テスト、レポート、授業に取り組む姿勢をもとに総合的に評価する。各科目の評価方法はシラバスに記載する。
- ② 実習科目は、課題の提出状況、作品の完成度、授業に取り組む姿勢をもとに総合的に評価する。各科目の評価方法はシラバスに記載する。